



## 保育園・幼稚園で子どもたちが培った力を 小学校の学びへとつなげる（保育体験編）

白石レイン坊です。今回は、夏休み中に市内の保育園で小学校の先生方が行った保育体験研修の様子を紹介します。（7月28日と8月1日に実施）。この研修は2回目となり、九つの保育園を研修会場として、各小学校から2～3名の先生方が参加しました。



### 「保育体験研修」とは

- 小学校の先生方が、保育園や幼稚園へ行って保育現場を体験します
  - 主として5歳児のクラスで参観や保育活動の一部を一緒にを行います
  - 園の先生方と、遊びや保育を通して、関わり方や子どもの姿、小学校のことなど自由に話し合いを行います

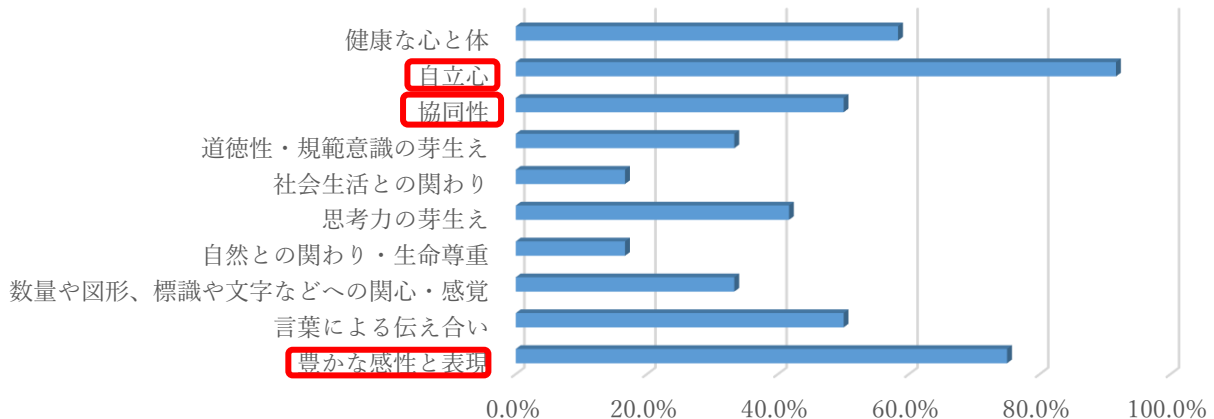
### 「目的」は

- 小学校の先生が保育内容や園児の学ぶ姿を見て実態を知る機会としています
  - 学校教育へのスムーズな接続のあり方を考えます（スタートカリキュラムへ生かす）
  - 保育園・幼稚園の先生方と顔の見える関係となり、連携を一層深めていきます

### 「体験者の主な声」は

- いろいろなことができる5歳児の姿に感心した。小学校に入学してきた時に、園からのつながりを大事にして育てなければならぬと思いました。

保育体験研修で感じた園が特に意識して取り組んでいる  
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について



上のグラフは、研修に参加した小学校の先生方が、各園が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中で、特に意識して取り組んでいると感じた結果です。当日の活動内容にもよりますが、「自立心」を育てることを意識しているが91.7%でした。

白石市「幼保小の架け橋プログラム」で目指している子どもの姿「自立心」「協同性」「豊かな感性と表現」の3つについて、特に意識して取り組まれていることが分かりました。

# 小学校の先生たちといっしょに いろいろなことをやったよ



環境づくりの大切さ



一人一人に寄り添う



子どもの主体性重視



小学校の先生方が保育の様子から強く感じたこと、気づいたことを

**キーワード**

で表しました。

「環境づくりの大切さ」「一人一人に寄り添う」「子どもの主体性重視」が多く上げられました。これは、各園が子どもをとりまく環境設定をしっかりと準備することにより、主体性を重視して一人一人の意欲・やる気を引き出すことや子どもたちの自立を促す工夫をしていることへの理解につながりました。

11月には、市内各保育園の保育士・各幼稚園の先生方の小学校体験研修があります。

互いに子どもの姿や取組を見合うことで、各園・各小学校がどのように幼児教育や学校教育を行っているのかを肌で感じながら自由に話し合える機会としていきます。